2026 年度海外短期留学（薬科学科，博士前期課程対象）

令和 8（2026）年 9 月 14 日から 9 月 20 日にかけて、生命薬科学専攻博士前期課程 1 年生 2 名と薬科学科 4 年生 1 名が、タイ・チュラロンコン大学薬学部を訪問し、短期研修に参加しました。本プログラムでは、天然薬用資源の豊富なタイの創薬研究を学び、現地の研究者と創薬に関する意見交換を行うことで、英語によるコミュニケーション能力、異文化に基づく研究・教育の多様性を理解する能力、自ら進んで討議に取り組む主体的な態度などを身に着けることにより、総合的で実践的な英語能力を養うこと、また、このプログラムを通じて、グローバルに活躍できる創薬研究者としての動機を強化することを目的としました。

参加学生は、チュラロンコン大学付属の調剤薬局や大学発のスタートアップ企業および付属する植物園や薬用植物の博物館の訪問を通じて、研究成果と創薬との関りを英語で学んだり、東洋医学で用いる植物等を目で見て学んだりすることができました。また、実験作業の体験も行うことができ、貴重な経験を積むとともに大変有意義な時間を過ごすことができました。これらの施設見学等を介してチュラロンコン大学の学生やスタッフの熱意を感じることで、自身の研究や将来の方向性について鑑みることができたと思います。薬学部では、今後も教育・研究のためにチュラロンコン大学薬学部との連携を強化していく予定です。なお、今回の留学生の派遣は、長薬同窓会（長崎大学薬学部創立 125 周年記念事業寄付金）や学内公募事業「令和８年度長崎大学海外留学奨学金制度」及び「国際学生交流支援事業」の支援を受けて実施されました。



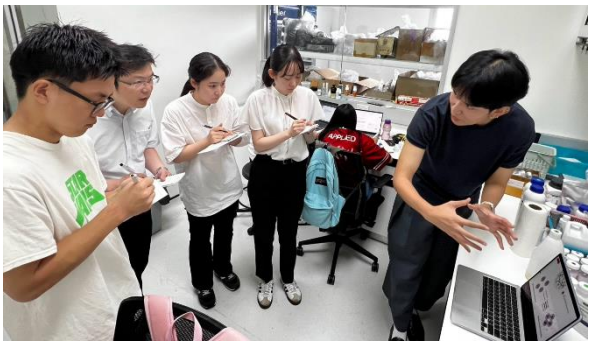

Vorasit Vongsutilers 薬学部長への表敬訪問（左）と薬局見学の様子（右）





薬用植物博物館における体験学習





スタートアップ企業の見学の様子




植物園の見学の様子





Chulalongkorn Medical 3D Printing Center の見学

文責：薬学部国際交流委員　鳥羽　陽